

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 12 日

Table with columns for 事務事業名 (大和中央公民館各種講座事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (030201000613), 政策体系 (生涯学習・芸術文化活動の推進), 予算科目 (公民館管理事業), and 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) 事務事業の概要. Includes ①事務事業の概要 (公民館定期講座開設, 公民館報による募集) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (公民館定期講座4月12日~21日まで募集・受付).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) showing performance indicators. Columns include ①手段 (公民館報により定期講座の募集), ②対象 (市民), ③意図 (市民同士が公民館講座を通して学びを広げる), and various metrics like 定期講座募集人数, 人口, and 講座を開催した日数.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table (3) showing input costs. Columns include 27年度 (実績), 28年度 (実績), 29年度 (計画), 30年度 (目標), 31年度 (目標), and 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), 正規職員従事人数, 人件費, 人件費計 (B), and トータルコスト (A)+(B).

Table showing 事業費の内訳. Columns include 28年度事業費 実績 (千円) and 29年度事業費 予算 (千円). Rows include 08 報償費 (480 and 510) and 合計 (480 and 510).

(4) 当該年度の実施内容

Table (4) showing implementation content for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, and 合併建設計画事業.

事務事業名	大和中央公民館各種講座事業	事務事業No.	30201000613	所属課	生涯学習課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市民のニーズが多種になり、参加人数が増加している。市民の生涯学習に対する活動意欲が増加している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特にないが、新講座のたち上げの要望。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 アンケート等で市民のニーズを調査し・企画していく。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 生涯学習や文化活動を通して、知識や見聞を深めるのに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民同士が講座を通して学びを広げる「きっかけ」の場を提供している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 市民の要望する講座の開設に努め、多くの受講生を受け入れられるようにする。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の生涯学習の場であり必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 濃く公民館でそれぞれの事業を展開しているため出来ない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各種講座開催に要する最小限の予算であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民を対象としており公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 講座への関心が低くなってきているので、市民の要望にあった講座の開設に努め多くの受講生を受け入れられるようにする。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---